

静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課 受託事業

平成 30 年度 静岡県高齢者権利擁護等推進事業

「看護実務者研修」＜開催要領＞

主催：静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課

実施：公益社団法人 静岡県看護協会

- 1 研修目的
介護施設等の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している看護職員を対象に、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な援助等を行うために必要な実践的な知識・技術を習得する。
- 2 研修目標
1) 介護保険制度と看護職員の役割を理解する
2) 利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護を学ぶ
- 3 開催日時
1回目 平成 30 年 11 月 16 日 (金) 9:20～17:00
2回目 平成 30 年 11 月 17 日 (土) 9:20～17:00
*両日とも受付 9:00～ *2日間出席できることが条件です
- 4 会 場 静岡県看護協会 第1研修室
静岡市駿河区南町 14 番 25 号 エスパティオ 3 階 (静岡駅南口より徒歩 2 分)
- 5 対象者 45 人
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・介護療養型医療施設などの老人福祉施設に勤務する看護職員
- 6 研修内容
1) 講義：鈴木みずえ先生 (浜松医科大学 臨床看護学講座 教授)
山田正己 先生 (看護小規模多機能型施設つむぎのて 所長)
萩田妙子 先生 (特養十字の園 看護職)
松井泰子 先生 (静岡県看護協会 感染看護認定看護師)
2) グループワーク
- 7 受講料 無料 (昼食は、各自でご準備ください。)
- 8 申込み方法 静岡県看護協会のホームページ (<http://www.shizuoka-na.jp>) お知らせよりお申し込みください。入力項目中 生年月日 は必須項目です。
- 9 申込み期間 平成 30 年 6 月 11 日 (月) ～6 月 25 日 (月) まで
・定員になりましたら募集を締め切らせて頂きます
- 10 受講決定 「受講決定」の通知を 7 月以降郵送します。
- 11 その他 研修修了者には、静岡県より修了証書を交付します。

申込み・問合せ先：(公社) 静岡県看護協会 事業部：鈴木・山田

電話 054-202-1770

FAX 054-202-1751

平成 30 年度 高齢者権利擁護等推進事業 看護実務者研修 プログラム

【目的】 介護施設等の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している看護職員を対象に、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な援助等を行うための実践的な知識・技術を習得する。

【会場】 静岡県看護協会第 1 研修室

【1 日目】 平成 30 年 11 月 16 日 (金)

時間	研修項目	研修内容	講師等
9:20~	挨拶	静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課長	
9:30~	高齢者の心身の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の心身の特徴とよくみられる疾患 ・ 高齢者のフィジカルアセスメント ・ 嚥下について ・ 急変時の対応（介護職員等との連携を含む）と医療機関との連携 	気の里看護小規模多機能型居宅介護「つむぎのて」施設長 山田正己氏
10:30 休憩 10 分			
10:40~	介護保険制度と看護職員の役割①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者を取り巻く社会環境、介護保険制度等の理解 ・ 地域包括ケアシステムにおける介護保険施設の役割 	
12:30 昼食 60 分			
13:30~	介護保険制度と看護職員の役割②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尊厳の保持と自立（自律）支援、身体的拘束等廃止に向けた取り組み・介護事故防止の為の体制整備・介護保険施設等における看護職員の役割・「生活の場」で提供される看護の特徴・組織の理解と多職種による支援（施設サービス計画及びサービス担当者会議を含む） 	
10 分休憩			
15:40 15 分休憩			
15:55~	利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護 ③感染管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染管理体制の整備（指針の策定、報告制度、感染対策委員会、職員研修等・平常時の衛生管理 ・ 感染症発生時の対応 	感染管理認定看護師
17:00			

【2 日目】 平成 30 年 11 月 17 日 (土)

9:20~	認知症高齢者の理解と看護（講義）（演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の医学的理解（心理的理解を含む） ・ 認知症の人の生活アセスメントと家族の理解と支援（GW 認知症の人と家族に関する事例検討 60 分） ・ 意思決定支援と権利擁護（GW 認知症の人の意思決定に関する事例検討 60 分） 	浜松医科大学臨床看護学講座教授 鈴木みずえ氏 コーディネーター 北詰越子氏 新富士病院 G 内山由美子氏 三方原ベテルホーム 松井陽子氏 白梅居ホーム
10:30 休憩 15 分			
10:45~	利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護①介護事故防止（演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の急変時の特徴と観察の視点 ・ 介護事故防止の考え方、ケアと事故発生時の対応（GW60 分）転倒予防をテーマに現状の課題と解決の方向を検討（事前に各施設の転倒予防の対策を持参する） 	特養十字の園 看護職 萩田妙子氏
12:30 昼食 60 分			
13:30~	②看取りケアの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の看取り期の特徴と状態像 ・ 多職種協働による看取りケア ・ 看取り期における家族支援（意向の尊重と看取りに関する理解の促進、心理的支援を含む） 	
15:00 15 分休憩			
15:15~			
16:45	修了証書交付	静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課	